

## リウマチ性疾患治療中に生じた COVID-19 感染症に関する研究

### 1. 臨床研究について

藤田医科大学では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。このような診断や治療の改善の試みを一般に「臨床研究」といいます。その一つとして、藤田医科大学リウマチ・膠原病内科では、現在リウマチ性疾患治療中に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を来した患者さんを対象として、臨床像、リウマチ性疾患の存在による影響を検討する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、藤田医科大学倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和4年5月31日までです。

### 2. 研究の目的や意義について

現在、COVID-19 は世界中で大流行しており、社会的にも大きな影響を与えています。COVID-19 の多くは軽症で自然治癒するもしくは無症候性で推移する一方で、一部の患者さんでは致命的な肺炎を呈することはご存知の通りです。新型コロナウイルスは人類が未暴露のウイルスであり、COVID-19 の症状・臨床経過、重症化の危険因子・併存する疾患の影響など解明されていないことが多いのが現状です。

当院で診療中のリウマチ性疾患についても COVID-19 の経過に与える影響についてはよく分かっておらず、症例を蓄積することが重要と考えられます。

本研究は日本リウマチ学会リウマチ専門医が治療中のリウマチ性疾患患者さんのうち、COVID-19 と診断された患者さんの臨床情報を収集し、リウマチ性疾患が COVID-19 に与える影響を検討することを目的として計画されました。本研究により、リウマチ性疾患をお持ちの患者さんが COVID-19 に罹患した際の診療方針、注意点などが明らかになり、実際の診療に活かされるが期待されます。

### 3. 研究の対象者について

全国の日本リウマチ学会リウマチ専門医が勤務するリウマチ科・膠原病内科においてリウマチ性疾患で通院中に2020年1月1日から2022年5月31日までに新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と診断された患者さんのうち、2000名を対象にします。

研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

### 4. 研究の方法について

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。取得した情報を解析し、COVID-19におけるリウマチ性疾患の影響を明らかにします。

〔取得する情報〕

- ・年齢(生年月)、性別、妊娠の有無、人種、身長、体重、喫煙歴、電子タバコ喫煙、合併症、
- ・COVID-19に関する項目：発症日・入院日・退院日、診断場所、診断法、症状（診断時および1週間後）、濃厚接触歴(発症日前14日以内)、治療薬、COVID-19による合併症、転帰
- ・リウマチ性疾患に関する項目：診断名、COVID-19診断時の疾患活動性、治療薬  
COVID-19診断後の基礎疾患治療の有無・継続・中止、
- ・血液検査結果（COVID-19診断前、COVID-19診断時、診断後1週間の3時点）：白血球数、リンパ球数、好酸球数、ヘモグロビン、血小板数、CRP、LDH、AST、ALT、eGFR、BUN、Dダイマー、フェリチン、Na、K

大阪市立大学臨床研究・イノベーション推進センターの運営する電子症例報告書を用いて研究対象者の上記の診療情報をwebにて登録集積した、詳しい解析を行う予定です。

他機関への情報の登録を希望されない場合は、登録を停止いたしますので、ご連絡ください。

## 5. 個人情報の取扱いについて

研究対象者のカルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表は、本学で紙媒体の原簿として管理し、鍵をかけた金庫にて厳重に取り扱います。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、藤田医科大学リウマチ・膠原病内科 教授 安岡秀剛の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

研究対象者のカルテの情報を電子症例報告書へ登録する際には、本学にて上記の処理をした後に行いますので、研究対象者を特定できる情報が外部に送られることはありません。

## 6. 試料や情報の保管等について

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、藤田医科大学リウマチ・膠原病内科において同分野教授・安岡秀剛の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた研究対象者の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。

その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。特に海外でも同様の患者登録研究が行われており、日本人特有の特徴を明らかにするために、海外の患者登録研究と比較する可能性があります。

## 7. 利益相反について

利益相反とは、外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のことを指します。

この研究は、特定の企業からの資金提供を受けておらず、特定の企業の利益を優先させて、あなたの治療方針を変えてしまうことや研究の公正さを損なうことはありません。

この研究における当院の研究者の利益相反については、藤田医科大学利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。

また、研究代表者等の研究組織に係る研究者の利益相反については、それぞれが所属する機関の利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。

本研究に関する必要な経費は一般社団法人日本リウマチ学会予算であり、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

## 8. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

## 9. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所 (分野名等)	九州大学病院別府病院内科
研究責任者	九州大学病院別府病院内科 教授 堀内 孝彦
研究分担者	九州大学大学院医学研究院医学教育学 教授 新納 宏昭 九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科 講師 有信 洋二郎 九州大学病院別府病院内科 助教 木本 泰孝

共同研究施設 及び 試料・情報の 提供のみ行う 施設	施設名 / 研究責任者の職名・氏名	役割
	① 慶應義塾大学リウマチ内科 / 教授 竹内勤	解析
	② 北海道大学内科(Ⅱ) / 教授 渥美達也	解析
	北海道大学内科(Ⅱ) / 講師 奥健志	情報の収集・ 解析
	③ 藤田医科大学リウマチ・膠原病内科 / 教授 安岡秀剛	情報の提供
	日本リウマチ学会専門医が勤務しリウマチ性疾 患の診療を行う施設	

業務委託先 企業名等：大阪市立大学 臨床研究・イノベーション推進センター  
所在地：大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、事務局までご連絡ください。

## 10. 相談窓口について

事務局 担当者：九州大学病院別府病院免疫・血液・代謝内科 助教 木本泰孝  
(相談窓口) 連絡先：〔TEL〕 0977-27-1640  
〔FAX〕 0977-27-1641  
メールアドレス：kimoty@beppu.kyushu-u.ac.jp

本学 担当者：藤田医科大学リウマチ・膠原病内科学 講師 橋本貴子  
連絡先：〔TEL〕 0562-93-2111 (代表)  
メールアドレス：takako-k@fujita-hu.ac.jp